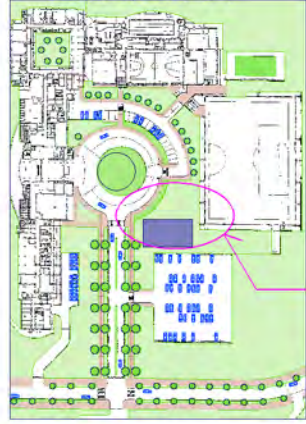


施設全体配置図



実施設計に際してのコンセプト

本施設の実実施設計にあたり、既存施設または本事業の目的を十分に理解し、かつ、種々のスタディが重要と考えています。従ってここでは、本施設の全体、各部位についての設計を進める際の基本的な考え方・目標を提案しています。

■ 検討資料 *別紙参照

- ①平面計画スタディ
- ②配置計画スタディ
- ③施設全体模型
- ④施設外観についてのスタディ模型
- ⑤外観イメージスタディ
- ⑥内観イメージスタディ

建設予定地

1. 施設全体について

スポーツ医療機能と同時に地域住民向けの医療サービス機能を持つ診療所であることから、高齢者等弱者に対しても十分配慮された施設環境が求められると考えました。

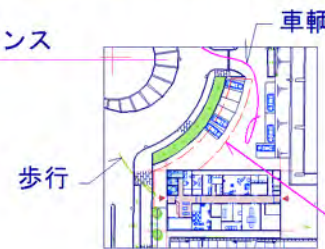
従って、外観等は、既存の施設に調和させながら、訪れる人がほっとするような柔らかさ・安心感を感じさせるデザインが求められるのではと考えます。

Example

- 外壁（外観）の構成材には既存施設の外壁（写真01）を使用
- 館名板等のサインにイメージカラーのブルーを使用
- 柔らかさを醸し出す木材の使用・暖色系カラーの使用
- *内外観イメージスタディ参照

写真01
写真02

2. エントランス



車両からのスムーズなアプローチのため、キャノピー（車寄せ）の設置を考えます。

タイル貼り

写真01



メイン エントランス

写真02



イメージカラー

写真03



豊富な緑地/建設予定地

建設予定地

3. 内観

ドクター・スタッフの職場環境に十分配慮すると同時に、訪れる患者にとって優しい環境造りが重要と考えます。

特に、待合、受け周り、中廊下（中待合）、リハビリ室等では、自然採光や木質材を多用し明るく、人に優しい空間を考えます。

*内観のイメージ参照

尚、木材の使用は、環境・地場産業への配慮に繋がることと考えます。スポーツ選手は身体が大型故、空間（天井高さ等）サイズは十分検討し設計を行います。

4. その他

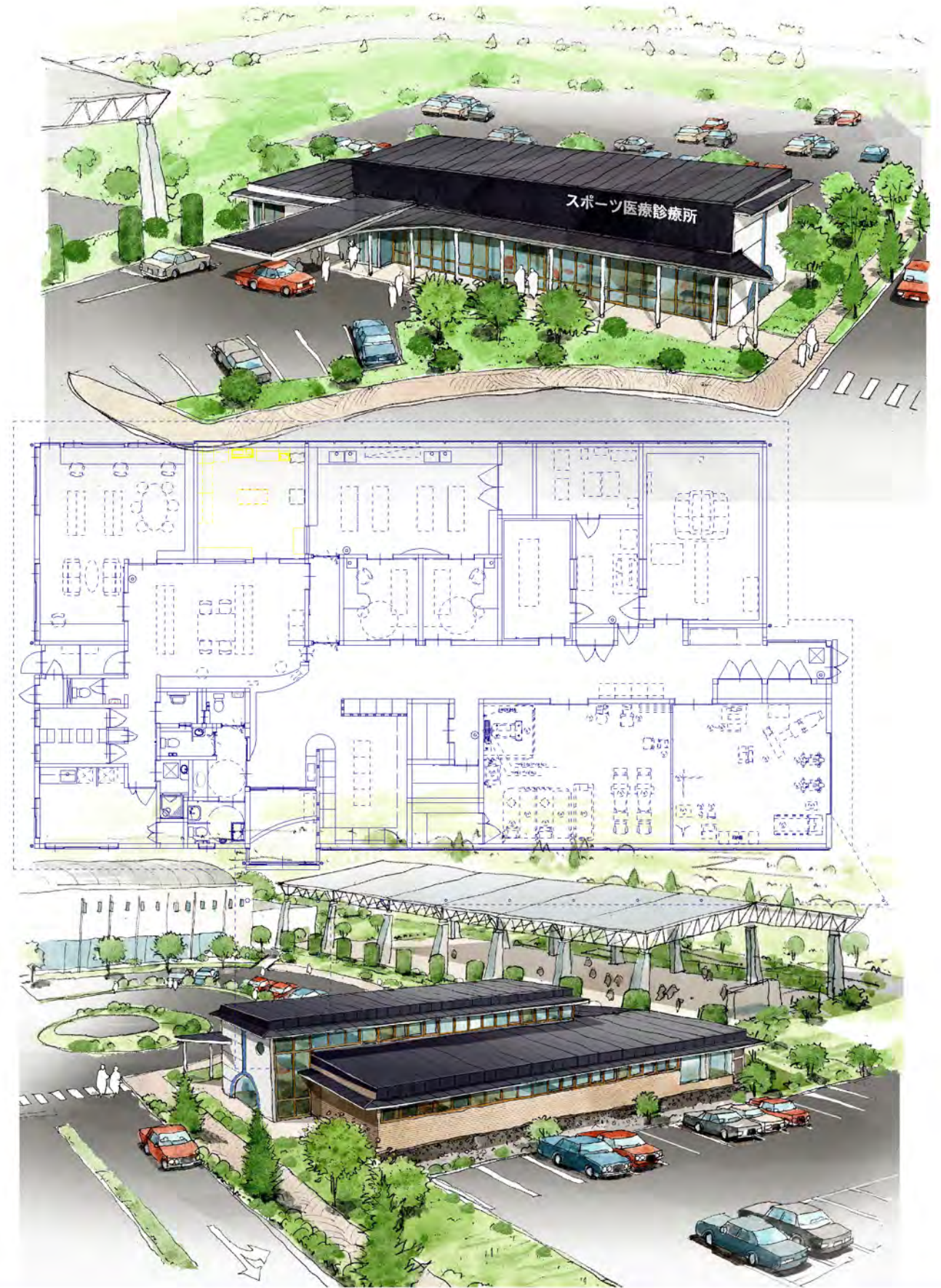
外壁・屋根材は、特にライフサイクルコストに配慮し、タイル・フッ素ガルバ鋼板等メンテナンスがしやすくかつ長寿命の材料の使用を考えます。

5. 構造計画

平屋建てで、比較的時間仕切り壁の多い建物であることから、鉄骨と木造の混合構造を検討したいと考えています。採用にあたっては、他構法のインシナルコスト比較を行います。

構造材として使用した木材をそのまま見せることで、木質の内部空間が造りやすくなります。さらには、昨今の鉄骨資材コストの高騰（1.5-2.0倍）に対するインシナルコストアップの対策にもなる考えます。

*木材のコストは、ほぼ横ばいとなっています。



スポーツ医療診療所

福島J-VLLAGE 日本サッカー協会

2010

延床面積 500m²